思春期の女の子とアジェンダ2030

UNGA78：誰一人取り残さないための行動喚起

第78回国連総会（UNGA78）と持続可能な開発目標（SDGs）サミットは、あらゆる多様性を持つ思春期の女の子の権利、健康、福祉に対する野心を高め、コミットメントを強化する極めて重要な瞬間である。「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための「2030アジェンダ」（「2030アジェンダ」）」の中間年に近づいても、思春期の女の子はグローバルな政策立案や開発アジェンダの中で目に見えない存在であり続けている。しかしUNGA78は、女の子の権利の後退を軌道修正し、気候危機から女の子の教育や性と生殖に関する健康と権利の後退に至るまで、世界中の女の子の生活に直接影響する世界的な課題に取り組む転換点になり得る。

思春期の女の子特有のニーズと権利を優先することは、2030年ビジョンを実現し、誰一人取り残さないようにするために不可欠であるだけでなく、基本的なことでもある。UNGA78は、SDGs達成までの残りの期間、思春期の女の子の権利と開発を確保するための重要な機会を提供するだけでなく、今年なされたコミットメントは、2030年以降の時代における将来の投資のための基盤を提供する。SDGsの枠組みは、女の子の権利のための取り組みを、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジに関するハイレベル会合や気候変動サミットのような世界的なイベントと連携させる、強固な説明責任構造を提供するものである。

> *「最終的にSDGsのすべてのゴールが達成されるのであれば、それは素晴らしいことです。でも、15年では無理だと思う。というのも、あまりにも多くの（目標が）さまざまな段階に置かれているうえに、大きな複雑な問題ばかりで、本当にシステム全体の変革が必要だと思うからです。」*
>
> リリス、17歳、オランダ

問題の背景:

採択時に、「2030アジェンダ」は、変革的で普遍的なものとされた。しかし、現在のデータによれば、世界人口の11億人を占める思春期の女の子は、取り残される危険がある。世界的な危機が重なる中、思春期の女の子は、その年齢とジェンダーのために、生活のあらゆる面で差別と交差性の課題に直面している。家父長制的なジェンダーと社会規範は、彼女たちの機会を制限し、潜在能力を十分に発揮する能力を否定し、制度的な障壁は、重要な意思決定の場への有意義な参加を妨げ、制限している。そのため、彼女たちを支配しようとする家父長制的な力よりも大きな声で、彼女たちの声を傾聴されることが望まれる[1]。

課題:

- 「2030アジェンダ」の中間年において、今なお女の子は社会的、文化的、経済的、ジェンダーや年齢に基づく差別の不均衡な影響を受け、排除され、疎外され、ジェンダー平等の達成の阻害要因となっている。世界的な危機が重なり、権利とジェンダーの平等に対する後退が進むとともに、データギャップも大きいため、女の子は見えない存在になりやすく、差別や権利は否定されがちだ。相当数の女の子が学校に通えず、ジェンダーに基づく暴力（GBV）を経験し、性と生殖に関する健康を含む保健サービスへのアクセスが欠如しており、自分たちの身体、生活、将来について選択する権利が否定されている。
- SDGsの232の指標のうち、ジェンダーや思春期、青少年に特化した指標は8%に満たない[2]。いくつかの進展が見られる一方で、かなりの割合の人々が、権利の否定や根強い差別と闘っている。

---

[1] Goals off Target: Accelerating the SDGs with girls and young women. Plan International.
[2] UN Women. (2022). “Progress on the Sustainable Development Goals: The Gender Snapshot 2022.” Retrieved from: https://www.unwomen.org/en/digitallibrary/publications/2022/09/progress-on-the-sustainable-development-goals-the-gender-snapshot-2022

- SDGsフレームワークは若者の参加を約束し、SDGsは「今日の若い世代の手の中にある」と述べている。にもかかわらず、女の子たちはSDGsが自分たちのために実現されていないと私たちに語っており、女の子や若い女性が変化を実現する機会は限られている。彼女たちは、SDGsに関する政策やプログラム、実施に向けた情報を得るために政治参画を行うための、政策決定者へのアクセスや国際社会からの支援を受けていない状況にある。
- 最近の研究[3]によれば、思春期に焦点を当てた多セクター間の、複合的な介入は、さまざまなグループ(女の子、家族、コミュニティ、社会)により大きな利益をもたらし、複数のSDGsのゴール達成に向けた取り組みを加速させる可能性を示している。このような多セクター介入はSDG5を前進させるだけでなく、他の複数のSDGゴールをも加速させ得る。
- SDG16とSDG17はそれぞれ、包摂的で開かれた社会を育むことの重要性と、「2030アジェンダ」を実現するためのすべてのステークホルダー間の協働の必要性を示している。市民スペースの縮小と権利の後退が進む中、市民社会組織の貢献能力は限定的になっている。若い女性によって運営されている団体を含め、ジェンダー平等のために活動している団体は、反発を経験している。多国間レベルでは、SRHR(性と生殖に関する健康と権利)、人工妊娠中絶と包括的性教育、子どもと若者の参加、そしてジェンダーの平等と人権を含むトピックについて、以前に合意されたコミットメントや文言に対する分裂や反発が強まっている。

これらの課題は、SDGsに焦点を当てた行動への取り組みを活性化させることが急務であることを強調しており、国連と各国政府に対して、女の子をSDGsアジェンダの中核に据えるという約束を果たすよう求めるものである。

主要課題:

- **教育とエンパワーメント**:1億3,000万人[4]の女の子が今なお学校に通っておらず、彼女たちのエンパワーメントと、将来のために不可欠な知識と技能の習得を妨げている。
- **保健とSRHR**:多くの女の子が、健康と身体の自律の権利の実現を否定されている。彼女たちは、最も重要なSRHRに関する必要な情報やサービスにアクセスすることが妨げられており、その結果、意図しない妊娠、妊産婦の死亡率や罹患率、性感染症、予防可能な病気や死亡につながっている。妊娠・出産に関連する合併症は、15～19歳の女の子の主な死因となっており、15歳になる前に妊娠した女の子は、妊娠・出産・産後に死亡するリスクが2倍になる。
- **保護**:女の子は、ジェンダーに基づく暴力、強制された早すぎる結婚、人身売買などの高いリスクに直面している。
- **参加**:彼女たちの生活に影響を与える意思決定プロセスから、彼女たちの声が欠落している。
- **気候変動**:世界中の女の子が経験する不平等と差別は、気候変動によってさらに増幅される。気候危機は、女の子がすでに日常的に直面している不平等を深化させ、平等と正義に向けた前進を後退させている。

[3] "Accelerating the achievement of the SDGs for Adolescent Girls: Evidence from Sub-Saharan Africa" The Accelerator Hub from the University of Oxford and University of Cape Town, and Plan International, 2023.
[4] OHCHR (2023). The world is failing 130 million girls denied education: UN experts. Available at: https://www.ohchr.org/en/press-releases/2023/01/world-failing-130-million-girls-denied-education-un-experts#:~:text=GENEVA%20(23%20January%202023)%20%E2%80%93,of%20this%20fundamental%20human%20right.

UNGA78に向けた行動への呼びかけ

「2030アジェンダ」の成功は、世界中のすべての人々、とりわけ周縁化されるリスクが最も高い層のエンパワーメントにかかっている。UNGA78では、加盟国は政治的野心を高め、多セクターへの投資を増やす具体的な約束をし、すべての政策、プログラム、行動、意思決定が思春期の女の子の権利を中心に据えるようにすべきである。**今こそ、強力なコミットメントと将来の投資のための基盤を強化し、思春期の女の子の権利が現在も、そして2030年以降も優先事項であり続けることを確実にする時である。**

私たちは加盟国に対し、UNGA78とSDGサミットを活用し、特に思春期の女の子の権利の向上に向けた強力かつ測定可能なコミットメントを行うよう求める。これらのコミットメントは以下を含むべきである。

- ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）、暴力と有害な慣行からの保護、教育、政治的参加、経済的エンパワーメント、保健と栄養の枠内を含め、**思春期の女の子のSRHRに特に焦点を当て、そのニーズに取り組む法律、政策、プログラム、行動を制定し、実施し、資金を提供すること。**
- 「2030アジェンダ」の実施に関連するすべてのプログラム、政策、行動、意思決定において、**包括的でジェンダーと年齢に配慮したアプローチを採用すること。**
- 革新的な資金調達メカニズムやマルチステークホルダー・パートナーシップを含め、「2030アジェンダ」に向けた変革を推進する、**思春期の女の子が主導する組織やプログラム、イニシアティブを支援するために、十分な財政的・人的資源を配分すること。**
- **最も周縁化された人々を含め、思春期の女の子の多様で交錯するニーズを、あらゆる多様性の中で、また複数の重なり合う世界的危機の中で、よりよく理解し、対処するために、タイムリーで信頼できる個別化されたデータ収集、分析、モニタリングシステムを強化すること。**
- **持続可能な開発の重要な推進力として、思春期の女の子の主体性と専門性を認識し、意思決定プロセス、政策開発、プログラム実施に、思春期の女の子が安全かつ有意義に参加する機会を拡大すること。**
- 国、地域、世界レベルでの定期的な報告とレビューのプロセスを含め、女の子の権利を促進し、SDGsを達成するためのコミットメントに政府が責任を負うことを確実にする**アカウンタビリティ・メカニズムを確立する**こと。

参考文献

1. “Goals Off Target: Accelerating the SDGs with Girls and Young Women” Plan International, 2023.
2. “Accelerating the achievement of the SDGs for Adolescent Girls: Evidence from Sub-Saharan Africa” The Accelerator Hub from the University of Oxford and University of Cape Town, and Plan International, 2023.

本資料に関するお問い合わせは、プラン・インターナショナル・ニューヨーク（UNOfficeNY@plan-international.org または chris.dominey@plan-international.org）まで。